

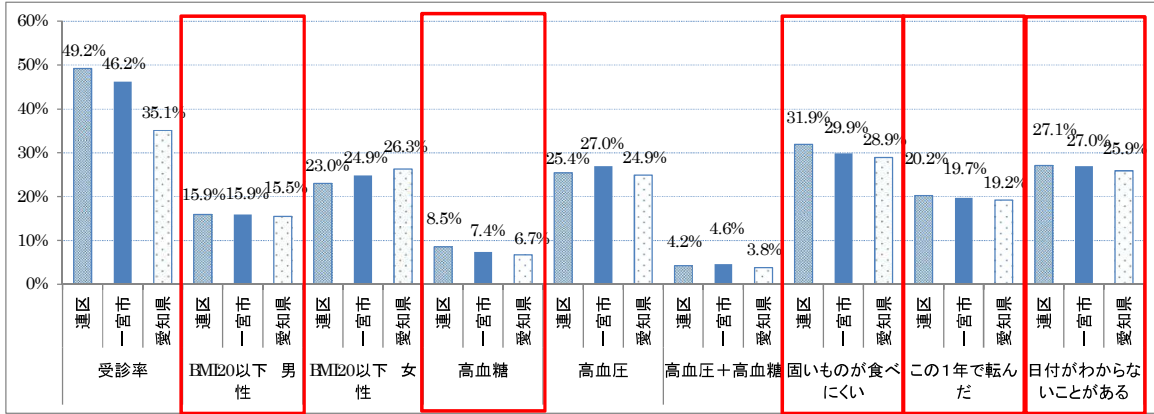
● 葉栗連区の情報 ●

⑦ 連区の人口構成 R6.4.1

総人口： 16,140 人（男性 7,901人、女性 8,239人）
 世帯数： 6,904
 高齢化率： 31.9 %（市内高齢化率が高い順で23連区中5番目）

⑧ 一宮市後期高齢者医療制度 健康診査（令和5年度）

被保険者人数 市 61,344 人 連区 3,212 人



「BMI 20以下」、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日にちがわからないことがある」の4点はフレイル（虚弱）に関する質問項目になります。 ...改善したいもの 資料：KDBシステム

⑨ 地域活動（地域包括支援センター「コムネックスみづほ」や社会福祉協議会の活動より）

◆ 島村いきいきサロン（島村公民館）

近年新しい集いの場が増えており、このサロンも地域の老人会が中心となってスタートしました。健康体操、ポッチャ体験、マジックショーから雛人形の展示会まで、毎回いろいろな催しが行われ、地域の方々が楽しんでいます。



◆ 島文楽保存会



島文楽は一宮市の無形文化財で、保存会の方々のご尽力により今でも目にすることができます。一宮市博物館における定期公演、地域のサロンや町内会、老人会などへの出張講演など、連区内の様々な場所でご講演いただいています。年に1度公開される島村公民館での人形の虫干しは、貴重な人形を近くで見ることができます。

◆ 木曾川堤の桜保全

連区内の光明寺地区に広がる木曾川堤の桜は、トンネル状に続く桜並木が毎年多くの方の目を楽ませる国の名勝となっています。こうした桜並木を病気や立ち枯れから守るために、『光明寺サクラを守る会』などの地域住民の方々による雑草除去や肥料撒きなど、様々な保全活動が行われています。



⑩ データから見る地域の特徴と健康の課題

《市全体のこと》

- 平均的に要介護2以上の期間は、男性で1.6年、女性で3.1年。この期間を短くすると、自分のことが自分でできる期間が長くなる。今後の、健康増進、介護予防の取り組みでこの年数を減らすことが望まれる。

《連区のこと》

- 健診受診率は市と比べると高い。後期高齢者の健診は、フレイル健診とも言われ、知らない間に進むカラダの変化のチェックができる。生活の中の工夫で、病気や介護を遠ざけることもできるから、1年に1回利用しよう。

かかりつけ医を持ち、病気だけでなく、カラダの変化も相談しよう。
 これから何がしたい？今後の人生に楽しい時間が増えるかもしれません♪



- 健診結果から「高血糖」の人の割合が多い。自覚症状がないから、病院で診てもらわなければならない。BMI 20以下の「低栄養」の人は、男性が市より多い。知らない間に痩せていることもあるので、要注意！
- 質問票の結果から「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日にちがわからないことがある」人の割合が多い。フレイル予防の知識の普及と予防の取り組みを進める必要がある。

◆ 地域活動について

老人会が主体的に集まりの場を設けていることや、地域に受け継がれたものを大切にしている活動が、人と人の交流の機会となっていることなど、フレイル予防に繋がっている。

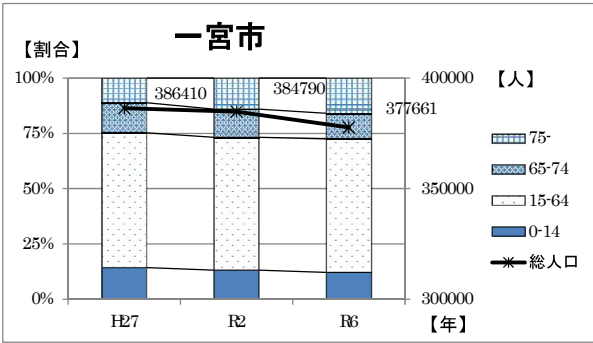
フレイル予防は、運動、食事、人との交流がキーポイント。
 連区の活動は、フレイル予防に繋がっているね！



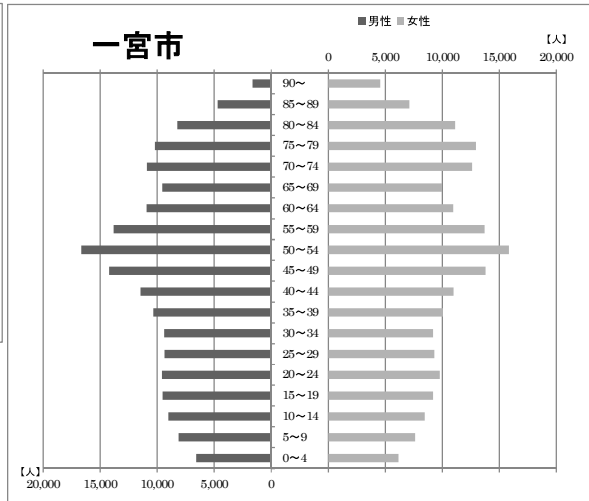
一宮市の情報

一宮市の情報

①人口推移(各年4月1日)



②男女別年齢階級別人口(令和6年4月1日)

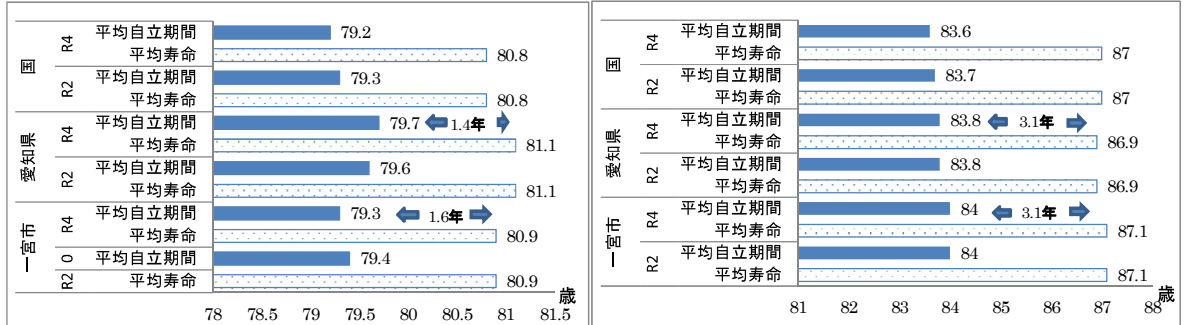


③人口構成(令和6年4月1日 住民基本台帳)

総人口: 377,661 人(男性 184,259人、女性 193,402人)
 世帯数: 168,204
 高齢化率: 27.4% (参考: R6国29.3%、R6愛知県25.8%)
 要介護認定率: 17.5% (令和5年9月末 第9期高齢者福祉計画)

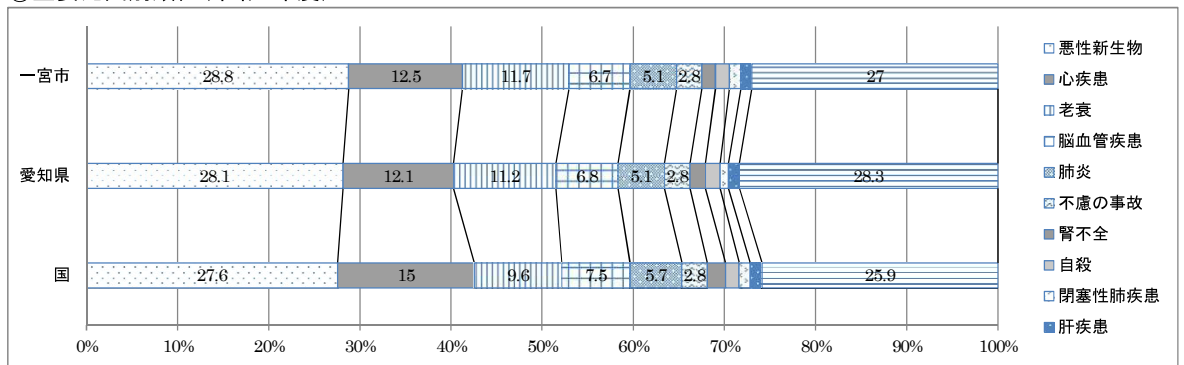
④平均自立期間(市町村レベルの健康寿命の指標)

平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均年数を示す。要介護2以上を不健康状態と定義して、平均余命から不健康期間を除いたもので算出します。参考として、平均寿命を掲載しているが、単純に比較できるものではない。



平均寿命は、男女とも、令和2、4年は同じ。愛知県よりも男性は1.8年短く、女性は、0.2年長い。平均自立期間と平均寿命の差が、平均的な不健康期間となります。男性は約1.6年、女性は3.1年で男性は、愛知県よりも0.2年長く、女性は同等でした。

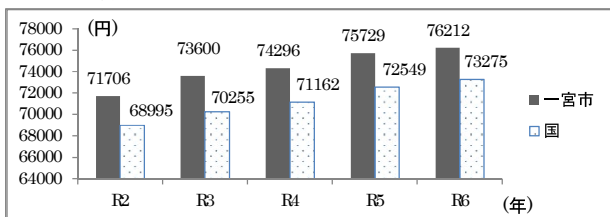
⑤主要死因別順位(令和2年度)



資料:健康日本21いちのみや計画

⑥後期高齢者医療保険制度 医療費データ

一人当たり医療費(一宮市)



死因の上位を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が占めているよ。生活習慣病は、予防対策があるもから、かかりつけ医や保健師に相談し、自分にあった対策を考えよう。早めに対策することで医療費も安くなることもあるよ。



資料:KDBシステム